

第 21 回海部会WGの話し合いのポイント

■第 21 回海部会WGの目的

鳥（自然、生態系）と人（海との触れ合い、絆再生）など多様な視点から海を考える。

- 鳥類からみる海の調査の感想を共有する
 - 調査で気づいたことや感じたこと、再発見したことなどを話し合う
 - 今後、干潟の再生等にあたり、留意すべき点を考える
- 干潟観察会の結果について
 - 子どもの海に対する意識や干潟との触れ合いの障壁・課題を考える
 - 課題解決の方法や活動プログラムのアイデアを出す
- 次回WG（ごみ・流木調査 愛知県海岸漂着物環境学習 佐久島）の内容を考える
 - 環境学習との連携方法を考える
 - 会議の開催是非と内容を考える

■話し合い事項①：鳥類からみる海の調査の感想を共有する

意見交換 20 分

話し合いのポイント

- どのような場所にどのような鳥がいたか。
- 鳥から見るとどのような海辺の環境が好ましいのか。 など

■話し合い事項②：干潟観察会の結果について

これまで話し合ってきた関連意見等の説明 5 分
アンケート結果の説明 10 分
意見交換 20 分

話し合いのポイント

- 普段の子どもの海とのかかわり、山と海の子どもの意識の違い
- 干潟との触れ合いを促進するにあたり、関係者（子ども、若者、保護者、学校、漁業者、市民活動団体、専門家、海の管理者など）は、どのような心配事を抱えているのか
- 全ての関係者がともに利益・効用を得てハッピーになるには、どうしたらよいか
- 矢作川で干潟観察会を開催するとしたら、候補地はどこになるか
- 誰が活動や運営の担い手になるのか（企画する人、実行する人、支援する人など） など

■話し合い事項③：次回WG（ごみ・流木調査 愛知県海岸漂着物環境学習 佐久島）の内容を考える

意見交換 20 分

話し合いのポイント

- 環境学習の時間が限られている中、どのような関わり方ができるか。
- 会議の内容はどのようなものにするか。 など